

【様式】

令和元年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 三重県立鳥羽高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		これからの地域社会をささえる若者が育ち合う学校 ～子どもたちが地域の中で生き生きと活躍し、自信と誇りを持って成長する～
(2)	育みたい 児童生徒像	○学校に誇りを持ち、地域社会をささえる若者として、自らの成長を実感し、自己肯定感、コミュニケーション能力を向上させている。 ○それぞれの進路実現に向けて、基礎的・総合的な学力や社会的・職業的自立に必要な能力と態度を身につけている。 ○学校の教育活動や地域貢献活動が、鳥羽・伊勢志摩地域の活性化につながり、地域を支える市民に成長する。 ○命の大切さや他者の立場を理解し、自らを律し、思いやりを持って行動できる。
	ありたい 教職員像	○教育活動を通じて教職員が生徒の成長を実感し合い、誇りと自信を持って学校の組織力を向上させる教職員。 ○授業を大切に、生徒の基礎学力の定着・向上に取り組むとともに、本校の特色を生かした地域学習や体験的活動を通して総合的な学力を育むことに前向きに取り組む教職員。 ○一丸となって子どもに向き合い、様々な職種、若手と経験豊かな職員が対話を通じて学び合っている教職員集団。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<b>【生徒】</b> 高校生活の充実（基礎学力の定着・発展的学力の伸長・部活動・仲間づくり）、進路実現 <b>【保護者】</b> 子どもの学力・コミュニケーション力・社会性の向上、進路希望の実現、安全で安心して学べる学校 <b>【地域】</b> 観光・防災等の地域の活性化への貢献、生涯学習・住民交流の場の提供、生徒の健全育成 <b>【企業・大学等の進路先】</b> 社会的・職業的自立に必要な生徒の基礎学力・基本的生活習慣の育成・定着	
	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<b>【保護者】</b> 子どもの進路実現、安全・安心の学校づくり <b>【中学校】</b> 生徒の進路保障、中高連携の推進 <b>【地域】</b> 地域社会の活性化、生涯学習の場の提供 <b>【企業・大学等】</b> 基礎学力の定着・向上、基本的生活習慣の育成	<b>【保護者】</b> P T A活動等生徒の成長支援への連携・協力 <b>【中学校】</b> 生徒の継続した成長支援のための情報共有、中高連携の推進 <b>【地域】</b> 地域学習活動の機会・素材・人材の提供、生徒の健全育成活動での連携・協力 <b>【企業・大学等】</b> キャリア教育や地域学習等の素材・人材・場の提供

<p>(3) 前年度の学校関係者評価等</p>	<p>① 学習指導：基礎学力・発展的な学力の伸長にむけて  基礎学力の定着・向上については、スタディーサプリの導入など生徒の学習支援についての新しい取組が成果をあげられるよう継続して活用方法を研究する必要がある。ICTの活用やアクティブ・ラーニングなど生徒の興味関心を引き出す指導、「わかる授業づくり」にむけたより一層の授業改善を期待する。また、進学をめざす生徒や学習意欲の高い生徒へのアプローチについても有効な手立てを検討する。</p> <p>② 生徒指導：保護者・地域と連携し、学校全体で取り組む生徒指導の推進にむけて  鳥羽市教育委員会のサポートセンターとの連携など、地域の方とともに取り組む生徒指導を期待する。</p> <p>③ 学校活性化：「地域連携」「観光教育」を核とした、学校の魅力化・活性化の推進にむけて  「鳥羽学」をはじめとした地域課題解決型授業、「とぼっこくらぶ」を中心とした地域と連携した取り組み、地域の催しへのボランティア参加や「鳥羽レンジャー」などの地域貢献の活動など、活性化の取り組みは確実に進んでいる。これまでの取り組みをさらに継続、発展させて、地域と連携した学校の魅力化・活性化を推進し、地域とともにある鳥羽高校の姿を地域に発信することを期待する。</p>
<p>(4) 現状と課題</p>	<p><b>【現状】</b>  平成27年度入学生から、デュアルシステムを含む教育課程やキャリア教育計画が実施されている。地域の特性を生かした観光教育、地域学習の要素を取り入れた学習を通じて、生徒は総合的な学力をつけ、将来の地域社会を支える市民へと成長するための仕組みが整いつつある。多くの生徒が3年間の総合学科の多様な教育活動や部活動等を通じて大きく成長している。授業に向かう姿勢や服装、登下校のマナーも向上している。しかし一方で、十分な自尊感情を持ってない生徒や仲間との良好な関係づくりが苦手な生徒も見られる。</p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善：ユニバーサルデザイン化やアクティブラーニングについて研修を重ね、教科や個人によっては主体的に授業改善に取り組んでいるが、学校全体での組織的な取組になっていない。</li> <li>・生徒指導：指導方針の統一や重点指導項目の設定により服装面や特別指導の件数等において、一定の成果がみられたが、引き続き学校全体で一体となった指導を継続、推進する必要がある。また、特別な支援を要する生徒が増加しており、学校全体でより一層の情報を共有しながら実態に応じた指導を行う体制づくりが必要である。</li> <li>・学校活性化・特色化：地域とより密接に連携し、生徒が主体的に学び、学習成果を発信していく取組を推進する必要がある。校外での活動が増加することによる移動手段の確保も課題である。</li> </ul>
<p>学校運営等</p>	<p><b>【現状】</b>  南勢地域で唯一の総合学科高校として、特色ある教育活動を展開しているが、伊勢志摩地域の中学校卒業者の急減等に伴い、募集定員を満たせない状況が続いている。平成29年度から学校活性化協議会を設置し、地域と学校がこれまで以上に連携して学校を活性化していく議論や取組を進めている。若い教職員が多い職場であるため、若手と経験豊富な教職員が対話を通じて学び合う前向きな学校文化、風通しの良い職場風土を築くことが必要である。</p> <p><b>【課題】</b>  平成30年度も引き続き、多くの教員が授業改善等の校外研修に参加したが、研修で学んだことや成果を学校全体に広げる体制ができていない。研修成果を還元する仕組みの構築が課題である。働きやすい職場づくりについては、休暇取得や過重労働時間の削減についてより一層の改善が必要である。</p>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>1 組織的な授業研究、授業改善及び教材開発に取り組み、子どもたちの基礎学力の定着・発展的学力の伸長を図り、一人ひとりの進路実現につなげる。</p> <p>2 観光教育の視点での地域学習を推進し、体験的活動を通して、確かな学力や自尊感情、自らの未来を切り開く意欲・態度を育てる。</p> <p>3 学力の向上とともに、部活動の活性化を促進し、地域社会に貢献できる人材を育成する。</p>
学校運営等	<p>1 平成 27 年度から改編された総合学科の系列学習が円滑に実施できるよう校内外での条件整備に取り組む。</p> <p>2 全職員がまとまって子どもに向き合い、一人ひとりの成長を支援できるよう、組織力の向上と前向きな学校文化の醸成を図る。</p> <p>3 組織のしくみの改善や働きやすい職場づくりに取り組む。</p>

### 4 本年度の行動計画と評価

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。(□で表示)

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。(■で表示)

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

【結果欄について】○: 目標を達成、●: 目標を未達成

#### (1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>(1)基礎学力の定着・向上</p> <p>①生徒の学力の客観的な把握と学力に不安のある生徒への継続的な指導に取り組む。</p> <p>□スタディーサプリ等の実施と活用</p> <p>□学力に不安のある生徒に対する課題・補習等の継続した指導の実施</p> <p>②学習習慣を確立し、家庭での学習を促進する。</p> <p>□授業における日常的な小テストや課題・宿題の実施</p> <p>□TT や少人数授業等によるきめ細かい指導</p> <p>③組織的な「学び直し」を授業内外で行う。</p> <p>□「マナトレ」「スタディーサプリ」等を活用した授業における継続的な学び直しの実施</p> <p>□「朝学」の実施</p> <p>④「わかる授業」、学習意欲を高める学習活動をめざし、組織的な授業改善、授業研究及び教材開発を図る。</p> <p>□授業公開週間:年 2 回設定・実施</p> <p>□公開研究授業及び授業力向上研修:年 2 回実施</p> <p>□授業改善に関する校外での教員研修への参加:年間 5 人以上</p> <p>□教科会を授業改善の研究・交流の場として活用:各学期 1 回以上実施</p> <p>■ユニバーサルデザインを意識した授業に向</p>	<p>(1)①○スタディーサプリ到達度テスト実施(①4月、②1月)、結果の分析、授業・長期休業の宿題・補講での取組や課題の配信</p> <p>到達度テストの正答率 25%未満の項目・総合平均点</p> <p>1学年:46/236= 19.5% → 31/236=13.1%</p> <p>42.3 点 → 46.5 点</p> <p>2学年:56/205= 27.3% → 56/205=27.3%</p> <p>25.0 点 → 26.6 点</p> <p>3学年:50/199= 25.1% → 49/199=24.6%</p> <p>25.9 点 → 28.0 点</p> <p>○考査前の学習会や補習の実施</p> <p>②○英語・国語・理科・家庭・福祉・商業・情報の授業で TT・少人数授業実施</p> <p>③○朝学(学年)、スタディーサプリ(教務、学年、数学)実施</p> <p>④○授業公開週間:①6/10～17、②11/5～11/18</p> <p>○公開授業研究・授業力向上研修:①6/17、②11/13</p> <p>○校外での授業改善研修参加:6 名</p> <p>みえ基礎学力 UP コンソーシアム事業への参加(数学科 1 名、理科 2 名)、中堅教員研修(国語科 1 名)、6 年次研修(国語科 1 名、家庭科 1 名)</p> <p>○教科会での授業改善:各教科で取組</p>	<p>※</p> <p>◎</p> <p>※</p> <p>※</p>

	<p>けての教室等の環境整備</p> <p><input type="checkbox"/>地域の中学校と連携した授業改善に関する取組:公開授業等への相互参加5人/年</p> <p>⑤社会人として必要なスキルを身につけるため各種検定試験や資格取得に取り組む。</p> <p>(2)思考力・判断力・表現力の習得・向上</p> <p>①主体的・対話的で深い学び、生徒主体の授業づくりに向けての実践研究に取り組む。</p> <p><input type="checkbox"/>全教科でアクティブ・ラーニングを取り入れた授業づくりの実施</p> <p>②授業等における発表や総合学科発表会等、生徒の学びの成果を発表する校内外の機会を充実させる。</p> <p><input type="checkbox"/>校内外での公開発表会の実施・参加:年間5回以上</p>	<p>○中高の公開授業への相互参加:(中→高)10名、(高→中)4名</p> <p>(2)①○各教科で取組</p> <p>②○地域みらい PBL 会議in三重(6/9)、高校生活入門講座(8/20)、総合学科研究大会(12/25)、地域創造サミット(12/26, 27)、鳥羽学石鏡班発表会(1/17 三重テラス、海の博物館)、総合学科発表会(1/31)、鳥羽学成果発表会(2/20 なかまち、石鏡町、2/27 校内)</p>	※
生徒指導の充実	<p>(1)自尊感情・規範意識・人権感覚の涵養</p> <p>①授業規律確保の指導を徹底する。</p> <p>②挨拶や言葉遣い、頭髪や服装等、基本的な生活習慣の確保や規範意識・コミュニケーション力向上の指導を全職員で徹底するとともに、自尊感情を育む生徒へのあたたかい声かけを行う。</p> <p><input type="checkbox"/>挨拶指導の徹底</p> <p><input type="checkbox"/>制服等の着こなし指導、異装束等の預かり指導の徹底</p> <p><input type="checkbox"/>毎朝の登校指導、授業時間中の校内巡視の実施</p> <p>③生徒の環境美化意識の向上を図り、清掃活動・環境美化活動の充実・徹底に取り組む。</p> <p><input type="checkbox"/>美化だよりの発行:年3回以上</p> <p><input type="checkbox"/>お掃除コンテストの実施:各学期1回</p> <p><input type="checkbox"/>校外環境美化活動:年2回</p> <p>④人権教育推進計画及び人権教育カリキュラムに基づき、計画的な人権学習を推進する。</p> <p><input type="checkbox"/>公開人権 LHR の実施:各学期1回</p> <p>(2)いのちを大切にする教育の推進</p> <p><input type="checkbox"/>各教科等において「いのちを大切にする教育」を内容とした授業の実施:年間1回以上</p> <p><input type="checkbox"/>「いのちの大切さ」に関する生徒向け講話・講演等の実施:年間1回以上</p> <p><input type="checkbox"/>カウンセリングマインド・アンガーマネジメント等に関する校内研修の実施:年間1回以上</p> <p>(3)いじめを許さない姿勢の育成</p>	<p>(1)①○鳥羽高校版「授業のきまり」の徹底、授業観察カードの活用</p> <p>②○教員・生徒(生徒会役員)による朝のあいさつ活動を実施:7月に3日間</p> <p><input type="checkbox"/>毎日の登校指導、下校指導、校内巡視を実施</p> <p><input type="checkbox"/>生徒会・生徒有志による地域防犯・交通安全ボランティア「鳥羽レンジャー」の取組:4回実施</p> <p>③○校内美化強化週間・クリーン週間を各学期に実施</p> <p><input type="checkbox"/>校外環境美化活動:1学期末・2学期末に実施</p> <p>④○各学期に公開人権 LHR 実施</p> <p>(2) ○各教科で工夫しながら「命を大切にする教育」を内容とした授業に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>性教育講座、DV 防止講座、薬物乱用防止教室、いのちを大切にする講演会、人権講演会、SCによる生徒向け講話を実施</p> <p><input type="checkbox"/>SCによる校内研修(2学期)を実施</p> <p>(3)○人権教育推進委員会毎月開催、生徒情報交換を実施。</p> <p><input type="checkbox"/>SC、SSW の活用:保健部、人推を窓口に連携。</p> <p><input type="checkbox"/>いじめ防止アンケート年3回実施</p>	◎ ※

	<p>□いじめ防止アンケートの実施:年間3回以上</p> <p>(4)生徒情報の的確な把握と情報共有を進め、専門家・機関と連携した生徒指導、教育相談を行う。</p> <p>□人権教育推進委員会での生徒情報共有:月1回</p> <p>□スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの連携</p>		
キャリア教育の充実と進路保障の取組	<p>(1)基礎学力の定着・向上</p> <p>①総合的な学習の時間や朝学の時間を活用し、基礎学力の必要性を理解させ、学びを深める。</p> <p>②生徒の進路希望や実態を踏まえ、進学や資格取得のための補習や個別指導に取り組む。</p> <p>(2)確かな進路実現に向けた細やかな進路指導とコミュニケーション力の向上に取り組む。</p> <p>①進路決定につながる情報や資料を具体的に生徒に提示し、面談を密に行う。</p> <p>②職場定着サポーターと連携・協力し、全教員による実践的な面接指導を実施する。</p>	<p>(1)①○朝学や総学の時間にプリントやドリル学習を実施。</p> <p>②○進学希望者向けの課外を実施</p> <p>(2)①○夏季休業中に3年担任団・進路指導部による面談・指導を実施</p> <p>②○2学期始めに全教員と就職支援相談員による面接指導を実施。</p>	◎
学校の魅力化・活性化と地域学習の推進	<p>(1)市当局や小中学校、地域関係者等の参画による学校活性化協議会を開催し、活性化プランに基づく取組を推進する。</p> <p>□協議会の開催:年間3回</p> <p>(2)各教科、系列の授業や「産業社会と人間」等での地域学習の充実を図る。</p> <p>□外部講師による地域学習・フィールドワーク:年間20回以上</p> <p>□鳥羽市との連携・協働による地域課題解決型授業の構築</p> <p>(3)デュアルシステム及びインターンシップの円滑な実施と課題改善に努める。</p> <p>(4)観光教育の視点での地域学習を推進する。</p> <p>①全国高等学校観光教育研究協議会主催「全国高等学校観光教育研究大会三重大会」「観高サミット」への教員・生徒の参加</p> <p>②「全国高等学校観光選手権大会」への参加を核とした地域学習の取組</p> <p>③県外の高等学校との定期的な観光教育学習の交流</p>	<p>(1)○協議会3回開催(5、10、2月)</p> <p>(2)○外部講師による地域学習(産社:2回、9/27 職業人インタビュー8名、11/29 隠岐島前高校より2名、鳥羽学:2回、6/13、7/11、10/24、11/28 アルファコード等)、フィールドワーク授業(産社:1回(11/22 神島は荒天で中止)、鳥羽学15回実施)</p> <p>○文理進学系列2年学校設定科目『鳥羽学』の授業で、鳥羽市と連携した課題解決型学習実施:なかまちコース「サイン制作」、「ショートムービー制作」、石鏡町コース「VR映像制作」、「まち歩きマップ制作」の取組</p> <p>(4)①○「全国高等学校観光教育研究大会」(7月、徳島)教員1名参加、観高サミット(12月徳島)教員1名参加</p> <p>②○1次審査通過</p> <p>③○愛知県立福江高校:8/9 福江高校訪問・交流、10/31 福江高校遠足(鳥羽市内)にて鳥羽市内ガイド活動・交流</p> <p>○岐阜県立益田清風高校:8/4・5 鳥羽、2/1・2 下呂にて交流活動、ソフトテニス部合同合宿(8月・下呂)</p> <p>○宮城県松島高校:鳥羽での交流活動(1/12)</p>	◎ ※
改善課題			

- ・校内外での授業研究や研修に多くの教員が参加し、教員の授業力が向上したため、授業規律が確保され、どの授業も生徒が落ち着いて授業を受けるようになった。次のステップとして進学希望者を対象とした進学補講のさらなる充実を図りたい。
- ・「スタディサプリ」を使った基礎学力の定着、向上についても、学年により差はあるものの総合平均点の向上等がみられた。しかし校内のインターネット環境が整っていないため、アプリを活用した課題の配信等が十分活用されていない。環境整備の充実が課題である。
- ・生徒指導面においても落ち着きがみられ、7月以降の生徒指導案件は0件であった。頭髪服装指導等のさらなる充実を図りたい。
- ・地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業を受け、鳥羽市やVR関連企業とも連携し「鳥羽学」をはじめとする様々な取り組みが行われ、多くのメディアで発信された。次年度に向けてもこれまでの連携を踏襲し、さらなる充実を図りたい。

## (2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	<p>学校が直面する課題等について校内外での教職員研修やOJTを積極的に実施、受講する。また、研修内容や結果の情報共有を行う仕組みを構築する。</p> <p><input type="checkbox"/> 校外の各種研修への参加:年間5人以上</p> <p><input type="checkbox"/> 校外研修参加者は復命書に研修内容をまとめ、研修資料とともに全教員に供覧する。</p>	<p>○みえ基礎学力 UP コンソーシアム事業への参加(数学科1名、理科2名)、中堅教員研修(国語科1名)、6年次研修(国語科1名、家庭科1名)計6名</p>	※
情報発信・広報強化の取組	<p>学校教育活動の情報発信と広報を強化する。</p> <p><input type="checkbox"/> 鳥羽高通信の発行:年間3回</p> <p><input type="checkbox"/> 『広報とば』への情報提供、記事掲載:年間3回以上</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページの更新:週1回以上</p>	<p>○鳥羽高通信は発行せず、学校案内、パンフレットを作成して南勢地区の中学校を訪問、配布</p> <p>○『広報とば』に鳥羽高校紹介記事掲載:年間3回</p> <p>○ホームページ更新中</p>	
働きやすい職場環境づくり	<p>(1)業務の精選や改善、校内組織の点検等を行い、総勤務時間の縮減を図る。</p> <p>①会議の精選、効率的・効果的な会議運営、会議時間の短縮を図る。</p> <p>■1時間以内に終了する会議の割合:放課後に行う会議の80%以上</p> <p>②月2日の定時退校日と夏季休業中の学校閉校日を設定する。</p> <p>■定時退校日の定時退校率:全職員の80%以上</p> <p>③昨年度より多くの休暇を取得する。</p> <p>■休暇取得:昨年度より年間0.5日増</p> <p>④時間外労働時間の削減を推進する。</p> <p>■時間外労働時間:月4時間の削減</p> <p>■月80時間超の過重労働時間対象者:0人</p> <p>(2)学校部活動運営方針を策定し、運用する。</p> <p><input type="checkbox"/> 部活動休養日:週1日以上</p>	<p>(1)</p> <p>①○100%(4~12月)</p> <p>②○100%(4~12月)</p> <p>③④:取組中</p> <p>(2)○部活動運営方針を4月に策定</p> <p>○部活動休養日:全クラブで設定</p> <p>(3)コンプライアンスミーティング:年3回実施</p>	<p>◎</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p>

	(3)「信頼される学校であるための行動計画」の 取組推進 <input type="checkbox"/> コンプライアンスミーティングの実施:年 2 回 以上	
--	---	--

### 改善課題

- ・「広報とば」をはじめ、様々なメディアに鳥羽高校の取組が紹介された。次年度以降も国際交流や地元小学校との交流等でも充実を図り、鳥羽高校の魅力ある活動の発信に努めたい。
- ・様々な取組が教員の負担にならないように注意したい。

## 5 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次へ の取組方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア等で取り上げられる部分だけでなく、基本である授業を大切に教員も楽しく学力を向上させる体制を構築してもらいたい。</li> <li>・今後は、生徒会が自主的に活動を広げるなど、より生徒が自ら考え行動する力をつけてもらいたい。</li> <li>・多くの取組があるので、教員の負担にならないようにしてもらいたい。</li> </ul>
-----------------------------	---

## 6 次年度に向けた改善策

教育活動につ いての改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学希望者を対象とした補講等の校内体制の確立。</li> <li>・英語教育での交流や教員交流など地域の小中学校との連携。</li> <li>・国際交流の充実</li> </ul>
学校運営につ いての改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタディサプリや海外と SNS で交流ができる校内のインターネット環境の整備。</li> <li>・中学校の公開授業への参加の促進。</li> <li>・定時退校、部活動休養日の徹底による総勤務時間の縮減。</li> </ul>